

平成26年度 事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業概要

平成26年度後半、国内の景気は穏やかな回復基調と報じられる経済情勢下の一方で、「円安」等による懸念材料が無いわけではありませんが、大島町におかれましては本年度を「復興元年」と位置付け諸施策に取り組まれておりました。

当センターにおいては、公益法人4年目にあたりシルバー人材センター理念に基づき、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進、活力ある地域社会づくりに寄与する事」を念頭に、就業開拓・会員拡大に向けた事業運営に努めました。

当年度の事業実績については、民間部門の各項目が微減となりましたが、公共部門は昨年引続き、関係機関のご配慮、会員・役職員の尽力により増となり、契約実績はトータルで消費増税を含めて169百万円台（7.4ポイント増）は、創立以来最高の契約高となりました。

平成26年度事業実績一覧表

(単位円)

		平成26年度	平成25年度	比較
契約金額	公共	134,295,019	122,230,863	12,064,156
	民間	34,984,150	35,413,525	△429,375
	合計	169,279,169	157,644,388	11,634,781
受託件数	公共	642	616	26
	民間	619	622	△3
	合計	1,261	1,238	23
就業延実人員	公共	3,530	3,349	181
	民間	1,876	1,972	△96
	合計	5,406	5,321	85
就業延日人員	公共	20,208	19,755	453
	民間	6,103	6,202	△99
	合計	26,311	25,957	354
配分金	公共	114,749,596	106,733,622	8,015,974
	民間	30,131,940	30,848,178	△716,238
	合計	144,881,536	137,581,800	7,299,736
材料費	公共	8,779,559	5,723,220	3,056,339
	民間	2,049,340	1,799,434	249,906
	合計	10,828,899	7,522,654	3,306,245
事務費	公共	10,765,864	9,774,021	991,843
	民間	2,802,870	2,765,913	36,957
	合計	13,568,734	12,539,934	1,028,800

事業報告

1. 就業開拓提供事業

- (1) 大島町・東京都及び関係諸団体に対して、社会奉仕活動及び日常的に連携を深める事により理解と信頼が得られ、受託件数増につながりました。

民間部門の会社・商店等に対する実績は、新規な就業開拓・相談を進めるなかで、適正就業に照らし対応を図るため伸ばす事が出来ませんでした。シルバーニュース・ホームページ・ボランティア活動等の効果により微減にとどめる事が出来ました。

- (2) 目標である就労率は 75%以上であります。前年度実績 74%に対し 3 ポイント改善し 77%となり、目標を若干、上回る事が出来ましたが、今後もより改善に務めます。

この事の大きな要因は、適正な就業・公平化を役職員一体となり目指した事によりですが、更に法令遵守のうえ、地域の信頼を得るよう一層の努力をします。

- (3) 独自事業である、あしたばの佃煮の製造販売等につきましては、対前年度比 146%と大幅な伸びとなりました。

また、東京しごと財団の支援を受けて、会員 16 名参加によるハウスクリーニングの講習会を共催し、家事援助サービス事業具体化に向けて一歩前進を図りました。

2. 普及啓発事業

- (1) シルバー事業を広く P R するための広報紙「シルバーニュース」の発行で、事業内容を中心に[こんな仕事出来ますよ]及び社会奉仕活動等を掲載する事により、住民の皆さまに理解を得て就業開拓を図りました。

- (2) 会員拡大も[シルバーで一緒に働きませんか]と 60 歳以上の島内高齢者に、広報紙・イベント主催等で呼びかける事により、17 名の入会が実現しましたが、更なる拡大策を図ります。

- (3) 社会奉仕活動については、大島町や各種団体の主催した海浜清掃・夏まつり・体育レクレーション大会・福祉まつり・伊豆大島ウルトラランニング等のイベント会場で協力し活動する事により、イベント主

催者・住民の皆さまからご理解と評価をいただきました。

- (4) 当センター主催事業「手作り作品展」及び「ゲートボール大会」につきましては、昨年はやむなく中止としましたが、本年は予定通り開催し、地域の皆さんとの交流が図れました。

3. 研修・講習事業

- (1) 東京しごと財団・第2ブロック主催の各種研修会に役職員が受講し、報告する事により、情報の共有化が進み、安全就業・適正な就業を図る事が出来ましたが、更に改善を進めるために会員へのお知らせ等を通し周知する事を図ります。
- (2) 就業に必要な知識や技能を習得することにより、質の高いサービス提供を図るため、ハウスクリーニングの講習会を共催しましたが、今後も自主講習会を開催し、会員のスキルアップを目指します。

4. 調査研究事業

- (1) 関係法令及び定款等を遵守し、更なる適正な就業・請負契約の推進を図り、安全な就業活動を心掛けました。
また、理事会・各委員会・事務局職員の連携により、事業運営の強化を図る事が出来ました。
- (2) 短期的には家事援助サービス事業導入に向けた具体化を進めたのち、国・町の施策等を見極めた中・長期計画策定を図って行きます。

5. 相談事業

- (1) 就労及び入会相談窓口は事務局応接コーナーでは毎日、当センター主催行事・大島町及び関係団体等のイベント会場でも随時行ってきましたが、より充実した展開を図ります。
- (2) 会員増強を図るなかで新入会員となった14名の方々が、希望する仕事に沿ったグループ就業をしています。

6. 安全就業推進事業

- (1) 昨年に引続き、事故ゼロを目標に掲げ、日常的なミーティング及び就労前打合せ等で、作業手順の確認と事務局事業班の就業場所パトロ

ールで、安全チェックを心掛けながら、日常的に安全就業の徹底を図る事により、重大事故の発生を防ぐ事が出来ました。

- (2) 委員の研修受講等による情報共有化により、安全管理委員会の機能強化を図りました。

委員会を年3回開催及び安全パトロールを実施するなかで、熱中症対策・就労現場の厳しい実態の情報交換と今後の対応の協議を重ね、広報紙等による啓発、入会時の安全基準の遵守等の推進により事故ゼロの目標を達成する事が出来ました。

- (3) 東京都のセンターにおける、平成26年度シルバー傷害保険に関する死亡事故の発生件数は4件となり、昨年度はゼロ件でしたので、残念な事ですが大幅な伸びとなってしまいました。

当センターとしてもこれらを受け、会員の皆さまの就業途上・就業中での事故防止に向けて、より一層の注意喚起を図ります。

7. 法人運営

理事会の下に、組織的で機能的な事業運営を行うために、公益社団法人の運営の課題として「組織の権限と責任の明確化」・「透明性の確保」・「ガバナンス」をあげ、適正な運営を図りつつ個人の権利利益の保護を図るため、個人情報保護に関する要綱を制定し、役職員一体となり法令遵守のもとに、機能強化を図りました。

さらに、運営全般の把握・事務の効率化及び適切な経理処理等について、理事会による組織運営に務めます。